



沼崎詔安議員

新年度予算

予算編成の基本的考え方

発展計画事業を着実に推進

**質問** 平成十八年度は、第八次町総合発展計画のスタートの年である。これを最重要課題として予算編成に取り組むものと考える。

三位一体改革のもと、交付税、補助金などが大幅に削減され、四苦八苦の予算編成にならざるを得ない。各自自治体とも大変な時代である。しかしながら町民は、行

政に対して大きな期待を寄せている。町民の要望に積極的に取り組み、町民福祉の更なる向上に努めていかなければならない。

町長の決意を示されたい。**沼崎町長** 国の財政構造改革による「三位一体の改革」で、新年度の予算編成は厳しいものになる。平成十八年度は第八次町総合発展計画のスタートの

年であり、町民が寄せる期待も非常に大きいものと思っている。

新年度の予算編成方針として、財政計画との整合性を図り、発展計画の施策事業を着実に推進することにして、第八次町総合発展計画における、平成十八年度から二十二年度までの前期計画に掲げる事業を着実に実施する決意である。

町の考えを聞く



高齢者の健康保持のため、軽度のスポーツで体を動かすことは大切なことです  
(町老人クラブペタンク大会の様子)



平成18年度予算編成説明会の様子

介護保険

ボランティアで保険料を軽減

国、他市町村の動向を注視

**質問** 介護保険料の改定は四月からである。現行制度での軽減は低所得者にしか認められていない。介護保険施設でボランティア活動をした人の保険料を軽減する考えはないか。

家にもりがちな高齢者

が積極的に外出し、社会貢献活動などで体を動かしたり生きがいを持つことは、要介護状態になるのを防ぐ効果があり、介護給付費の削減につながると期待する。

**沼崎町長** 現在、厚生労働省では、介護保険施設な

どで介護ボランティアをした人の保険料を控除することができ「介護支援ボランティア控除」制度の創設に向けてガイドラインを検討している。これは、町の条例で定めれば保険料を控除できるとするものであるが、控除した保険料に対しては、国からの助成もなく、保険料あるいは介護給付費準備基金などからの充当を考えているようである。

現時点で厚生労働省から具体的内容が示されていないので、国及び他市町村の動向を注視していきたい。